

【単元のポイント】

割合（Ⅰ）

5年生 算数 第6単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【C 変化と関係】 C(2) 百分率

ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。百分率を用いた表し方を理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 割合の意味を理解している
- 割合 = 比べる量 ÷ もとにする量 を使って割合を求められる
- 百分率 (%) の意味と表し方を理解している

【思考・判断・表現】

- 日常の場面で割合を用いて比較ができる
- 割合、比べる量、もとにする量の関係を説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 身の回りの事象を割合で表そうとしている
- 百分率を日常生活に活かそうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 割合の基本式

- 割合 = 比べる量 ÷ もとにする量
- 比べる量 = もとにする量 × 割合
- もとにする量 = 比べる量 ÷ 割合

2. 百分率

- 割合を 100 倍して % (パーセント) で表す
- $0.25 = 25\%$ 、 $0.5 = 50\%$ 、 $1 = 100\%$
- 100% より大きい割合もある ($150\% = 1.5$)

3. 割合の具体例

- シュート成功率、打率、降水確率
- 割引き (2 割引き = 0.8 倍)
- 税金 (消費税 10% = 1.1 倍)

4. つまずきやすいポイント

- 「もとにする量」と「比べる量」を取り違える
- 割合と百分率の変換を間違える
- 百分率を小数に戻す際に $\div 100$ を忘れる

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 図解：線分図や関係図で視覚的に理解
2. 具体例：セールの割引き、テストの正答率など身近な例
3. 段階的：割合→百分率→逆算の順で扱う
4. 言葉の確認：「もとにする量」「比べる量」の言葉の意味を確認